

明治三十八年五月廿八日戰鬥詳報

一、天候

天候快晴ミテ展望良好風向午前南由ミテ午後西南西ニ變ジ風力概テ内外波浪ノ方向西南西ミテ高クカクト重ク波長頗ル大ミテ船ノ動搖甚シ

二、運動

昨夜未引銃ヲ針路北ニ東ニ東ミテ速力十五哩對陵島ニ向テ夜間ノ警戒戒ハ天明ニ至ル迄船内四直哨兵ノ配備ヲ以テス
午前五時五分北ヲ西ニ變針シ速力ヲ減シテ十三哩トス
全五十分子早ヨリ魚線電信ヲ以テ敵ノ戰艦四隻

二三等巡洋艦二隻見たり報六時交又港ヨリ
 本艦、位置北緯三十七度十五分三秒東経百三度
 四分九秒知れ全五分針路ヲ南ニ変シテ無線電信、
 情報ニ依リ敵艦隊ノ所在方面ニ向シ七時三十分南
 東ニ東ニ変針ス全四分各負ラシテ戦訓部署ニ
 就カシメ凡テノ要員ヲ備ヘテ各砲火管ヲ試ム全五分
 昨日ノ戦訓、於テ敵彈、為メ大橋頂部折斷シ無線
 電信機ニ故障ヲ生シ尤為メ敷島本艦ニ代リテ受
 信ラズ全五分速力ヲ十五哩トシ戦訓部署全五分整
 備セラル以テ演習散休想セム全五分七方東南東ニ変針ス
 八時五分南ニ東ニ煤烟ヲ認め第五戦隊ヲキ全五分七
 分東ニ変針シ全四分南東ニ第五戦隊ヲ認め此時
 第五戦隊ハ全五分速力十七海里トシ本隊ノ後方ヲ高

七敵ノ所在方面ニ向ク九時南東ニ南ニ莫四戦隊ヲ
 認ム全五八分南東ニ南ニ當リ途ニ敵艦數隻
 約北東ノ方向ニ航走スルヲ認ム全五五分方位南東
 ナ南石南巨高約二萬メートルト爲リ其ノ勢力ハ戦艦
 四隻巡洋艦一隻ヲ認ム全五分至テテ氣ヲ附シ
 ヲ令シ戦隊部署ニ就カシム全五分敵艦隊ノ勢力
 全ク判明シ先頭トニライト一世ニテ次ニ「ボロ」ノ型戦艦
 一隻及海防艦
 二隻外「イグム」ト
 ヲ随伴セルヲ知ル
 十時三分敵艦隊
 南東ニ南一萬
 四千米全五分



至リ十二所至セ艦砲負ラシテ下リテ防衛物内ニ住セシム
 今十分彼我同係位置圖ノ如シ
 十時十三分敵艦隊巨高一萬二千メートル至リ十二分砲
 及右艦側六分砲ヲシテ鐵鋼榴彈ヲ裝填セシメ各砲
 台ニ「ビスケット」ト水トラ給ス今十六分巨高一萬一千五百
 メートルニシテ戰鬥艦ヲ開ク「イツム」ト其快速力ヲ以テ
 先頭艦ニ近ク進航スラ認ム今二十分「コライ」ト一世南東
 ノ南一萬メートル今三十分南東三萬九千メートル今三十分
 一分「イツム」ト「コライ」ト一世ノ前面ニ現ル其ノ水雷發
 射ノ行動ヲ出シ事ヲ慮シ東東東ニ變針ス今四十分
 「コライ」ト一世ノ巨高七千八百メートル到ル時春日先ヲ發
 砲、次ヲ第二戰隊砲ヲ發シ今四十分巨高七千メートル
 右艦側六分砲、一斉試射ヲ以テ「コライ」ト一世ニ對シ砲撃

ラ開始ス敵艦隊更ニ心戦セズノイヅルトト北方ニ適
 逃セリ全軍三分敵ノ各艦×GF在萬國船的信條
 (辨仗ラ意) 掲揚セラ認メ直ニ發砲ヲ止メ原速十海里
 トナス全五分南ニ變針全五分南東ニ變針シテ我
 門旗ヲ下ス敵艦隊停止ス全五分八分敵ノ各艦標信
 旗ノ上ニ我が軍艦旗ヲ連繫スナリ時右艦側砲裝填
 ラナシ尾栓ヲ開キテ直ニ發砲シ得ルノ準備ヲナサシメ敵
 艦隊ノ萬ニ備フ全八分事連次ヲキ連ト為シ各戰
 隊駆逐隊及敵隊漸次ニ集合ス全五分五分南ニ西ニ
 變針五分一分ニ至リ停止漂泊ス
 全五分三分我艦隊ノ軍使トシテ参謀秋山中佐本艦
 三番分隊長山本大尉ヲヨラシ一世ニ赴ク正午交又法
 ニ依リテ本艦ノ位置北緯三十六度五十三分東經百

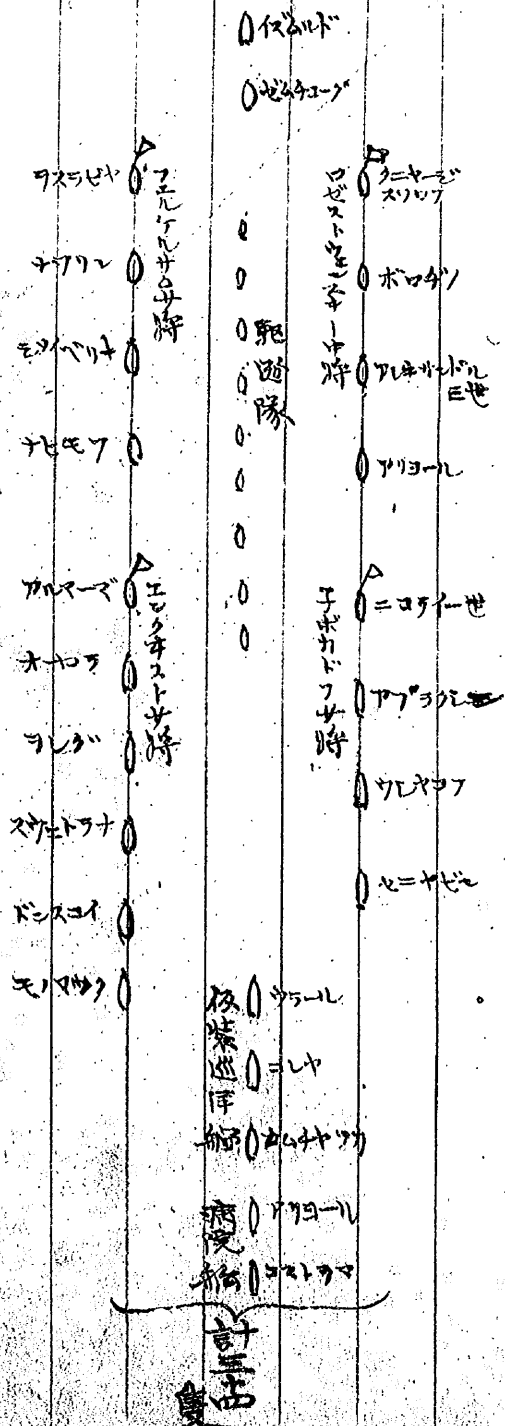
辛一度方先ヲ知ル午後一時三十分暴風派遣セル軍使
帰艦ニテ降伏艦ノ「ニライ」一セ「アヨ」アド「ラ」セネ
「ア」キ「シ」アド「ラ」セネ「ラ」セ「ア」ビ「シ」ラ知ル全時降伏司令
官「ネボカ」少將以下幕僚乗艦長官會見シテ
退艦ス

敷島富士「ニライ」一セ「アヨ」朝日「アヨ」出雲
常磐吾妻「ア」キ「シ」及「セ」ビ「シ」ノ捕獲手続ヲ
其「シ」施行シ終「リ」テ七時三十分行動ヲ起シ針路
南西石南原速八速ヲ以テ「ニライ」一セ「アヨ」後
尾「ヲ」控「シ」世保ニ向「フ」
本艦航跡圖ハ別紙ニ葉ノ如シ

三敵ノ艦船名及數

二十七日ハ濠氣ノ爲ノ敵艦隊ノ隊形及艦名其數ヲ認識スルコト
能ハサリシガ諸種ノ報告ヲ綜合シテ凡ソ尤ノ如シ

戦闘隊ノ隊形



午後一時四十分頃彼艦影ヲ認め重々吾方スワリノ型を翼列ハ
クヌラビヤ列ノ前方ニ出シテ速カク増加シテ西向位ノ度向シ午後

二時八分戦闘開始ノ頃ニ其先頭二艇ヲガスマシヤリノ積筋方ニ認ミ
 得ヨリ 故ニ「イスマン」ガムキエーバハ「スマ」ノ型戦列ノ左方艇首
 見ユル至リ 其後敵ハ主戦艇隊ノ單縦陣ヲ形成スル者ナシセ
 濃氣ニ加フル砲煙爆煙相俟シ敵ノ隊形ヲ明認ス能ハス間ニヤリ敵
 ハ我猛撃ヲ為シ隊形錯乱モ四分五裂ノ状況ヲ呈スルに至リテ
 認ム

0352

四 破壊沈没若くは進退の認めしる艦船名及時刻

一、二十七日午後三時三十分頃交戦、初め敵の先頭艦より「スワロワ」型

一隻が砲撃を食ひ大火炎を起し煙突一本は全く破壊せしむ形

ヲ失ひ前大兩橋共、檣樓邊より上部へ全く切斷せし進退

自由ヲ失せし認め

二、午後三時三十分より「アムステルダム」型艦に砲撃せしむる之ヲ破壊

せしむる信ヲ

三、午後五時三十分頃敵艦に大砲撃を食ひ進退自由ヲ失はる迄

破壊せしむる認め

四、午後五時五十分頃敵艦巡洋艦「ウララ」ト思はる者前大兩橋

ニ砲流ヲ揚がせし儘が砲撃を食ひ尤も艦に傾き全く沈没せし

認め

五、午後七時三十分頃「カヨ」型が砲撃を食ひ大火炎を起し沈

認シテ艦名五時刻

以テ戦ノ初ノ敵ノ先頭艦シリ「スワロウ」型
火炎ヲ記シ煙突一本ハ全ク破壊セシコノ形
。橋樑邊ヲ上部ハ全ク切斷セシ進退

「アトミラ」トナヒモ「シ」極事シ殆トシテ破壊

為カシテ大攻撃ヲ其ハ進退自由ヲ失ハシ迄

表巡洋艦「ウラ」ト思ハル者幕布西橋
我砲隊ノ為メ大船ニ傾キ全ク沈没セリ

シ型林砲隊ノ為メ大火炎ヲ記シ「沈

0353

0354



設セリ認ル 火藥庫ノ爆發セシモノナリカ

六、二十日午前十時頃「イサム」ノ敵艦隊ト介留シテ東方ニ遁走

スルヲ認ル

七、左日午前十時四十三分頃敵ノ先頭艦「ヨラ」一セノ暴撃

XGE (降服)ノ高岡信雄ヲ掲グ

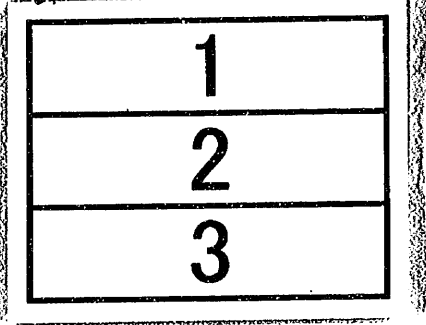
添 頁

0355

各行葦波射浮敷表

0356

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0357
0358
0359

	十二平		八平		六平		十二冊		十二听		重四十七安			輕四十七安			計二冊	計三冊	十八寸	十四寸
	鐵鋼指彈	鐵甲指彈	鐵鋼指彈	鐵甲指彈	鐵鋼指彈	鐵甲指彈	鐵鋼指彈	鐵甲指彈	鐵鋼指彈	鐵甲指彈	鐵鋼指彈	鐵甲指彈	通常指彈	鐵鋼指彈	鐵鋼指彈	鐵鋼指彈	鐵鋼指彈	鐵鋼指彈	魚形水雷	尖形水雷
三笠	96	28			540	529			1095											
敷島	70	4			1134	261			1272				24	20	5					
富士	106				472	60			125											
朝日	142				693				513											
春日	50		103		513	355			270											
日進			181		998	193			760											
龍田							24													
出雲			136	30	475	229			388											
若草			172	1	598	121			752											
浅間			74		436	24			66											
八雲			101	90	324	353			899											
常盤			160	35	602	117			675											
舞手			148	57	646	159			500											
千早							76	80	122											
笠置			41				240		199											
千歳			53	9			303	24	195											
新高					291	51			380											
高羽					134	67	262	63	224											
海軍					418	32														
高橋					219	244														
明石					106	58	154	43												
對馬					356				550											
嚴島							91		43											
鎮西					56															
松島							46		3											

源磨
林津洲
和泉
代田

77
73
88

176 9
158
526
120

25
120

77
27

67
9

13
18

扶桑
高樞
筑紫
守治
摩耶
鳥海
赤城

資料
日本丸
各港丸
豊南丸
豊北丸
豊中丸
香丸
日光丸
熊野丸
信濃丸
満州丸
備後丸
八幡丸
佐渡丸
千歳丸
京成丸
大仁丸

J

五 砲水雷、射撃及其効力

砲銃之部

第一次右舷戦闘

午後二時七分、敵ノ先頭ヲ屢シク左ニ回頭シ、我相距ル六千五百最近

艦ヲスラビヤシ先ツ砲火ヲ開シ

二一〇

射距離六千四百ミ至リ嚮導艦「スワロフ」型ニ向シ右舷
前方砲台一斉試射シ行キ六千二百ミ至リ右舷砲台ノ

並射撃ヲ開始シ專ラ嚮導艦(敵司令長官旗艦)認

メラレシモノ)ニ全砲火ヲ集中シ敵甲板鋼交互ニ突撃

戦闘初期於テ本艦ハ敵砲火ノ集弾ヲ受ケ忽チ

シテ拾餘弾ヲ被リシモ

二二一

四千九百ノ射撃距離ミ至リ我砲火ノ威力著ク其効果
シ顯スミ及シテ敵ノ集弾者漸ク奈ルミ至リ一時急射撃

0361

0360

部
其効力

シテ左ニ回頭シ彼我相距ル六千五百最近
迄ッ砲火シ聞ク

ミ至リ嚮導守艦「スワロフ」型ニ向シ右舷
有試射シ行ヒ六千二百ミ至リ右舷砲台ノ
ヲシ專ラ嚮導守艦（敵司令官長官標艦ヲ認
ム砲火シ集中シ徹甲被弾交互ニ突射シ
テ本艦ハ敵砲火ノ集弾シ受ク忽チ
被リシモ

距離至リ我砲火ノ威力省ク其効果
敵弾省減シテ至リ一時急射撃

0361

0360



シテ最ニ猛烈ナル砲火ヲ敵艦ニ集中シタルキ、如キ爆
煙目標ヲ蔽フテ通視スル能ハガレト至ル

二二二射距離四百六十百ニ於テ戦闘ノ初期防禦部内ニ下ケル十等

砲負シ砲ニ配シ專ラ旗艦ヲ射撃セシム

二二八 弾薬ノ消費ヲ顧慮シ並射撃ヲ緩ス

二四〇 我々十二吋及六吋弾ハ相踵テ瀕々石カナル命中シテ爆煙

艦体ヲ被ヒ一時打方ヲ待ツ止ム得ザルニ至ル

二四七 再ヒ嚮導艦ノ我々向首ニ来ルニ對シ射距離五百ハノ猛烈ナル

短射ヲ加ヘ命中確実火災頗ル顯著トナル

二五三 左舷其ノ變針ト共ニ右舷戰鬥ヲ止ム

第二次左舷戰鬥

三一一 敵艦隊ト及行射距離五百三〇。敵ノ先頭ニ對シ左舷砲火

ヲ集注シツル之ニ迫リ嚮導艦ヲスワロフ最近二六〇。及ブ

一時敵艦隊形漸く混乱し陥り運動区々トシテ方行亦不
定ナル十二所砲モ全ジク砲火ヲ継続ス

三、二、三、九、百、射距離ニ於テ最近戦艦(獨逸艦)ヲ顯著ナル命中
弾為ニ破壊シ大炎ヲ起シ停止セルガ如キヲ見ル十二所砲火專

ラ「ナモ」(距離三三〇)ニ集注シ效果見ルベキモ方リシ次

目標ノ戦艦距離次々ニ遠サカリシヲ以テ全砲火ヲ「ナモ」ヲ轉

ジ射距離三九〇乃至四二〇。於テ一時之ヲ猛射セシモ

三、三、射距離漸次遠カリシヨリ左舷全射ヲ止ム

第三次右舷戦闘

三、四、五、左舷点、変針シ行ヒ合行シテ右舷戦闘トナルニ時子早リ勇

敵ナル我駆込隊ヲ伴ヒ煙突ヲ破壊セラレ一舷ニ傾キ戦

艦「スワロフ」ニ向ヒ猛火ヲ冒シテ襲撃ヲ決行スルヲ見ル

四、一、六、十五、百、願好目標ナル三煙筒ノ「スラベヤ」ヲ砲撃ス次ニ目

標シ常時先頭ニ位置スルボロ今ノ型ニ換ユ

四、リ七、六、二、百、射巨高ニテ、ホロキノ型ヲ砲撃中前部十二号弾膳発シ

タルノ形跡アリ直ニ膳中ニ換セシモ異状ナカリシヲ以テ發砲シ

銃銃ヲ射巨高ニ衝時減ジテ五七〇〇ニ至ル

四、一、更ニ目標シ換エ煙変シ失タル最ノ傷守艦ハスワロフヲ猛撃

ハ射巨高五十六百弾省最モ良好

四、一、三、后部十二号弾膳発セルモノ、如ク砲口近ク海面ニ弾片飛散シ濃煙ヲ発ス

四、二、〇、射距離三十八百弾省良好ナルニ艦外ニ落弾ヲ認メズ

四、二、九、弾薬ノ浪費ヲ顧慮シ徐射撃シテス、冷静沉着ニシテ命中確

実二千ノ近巨高ニ接近砲撃シテハ、如キ恰モ平時若石ノ向

ヒテ艦砲射撃ヲ施行シマアルノ觀アリシ

四、三、五、右舷戦闘ヲ止シ左八點ニ変針銃ヲ右八點ニ針路ヲ変ス

第四次 右舷戦闘

五、〇三々隊ヲ乱ル敵艦隊中ニ煙突ノ右翼艦(戦艦、如シ)

ニ対シ六千六百ノ射距離ニ於テ砲火ヲ交ハシテ五千米突タルニ播

三煙突ノ假裝巡洋艦(假巡ウフル?)ニ目標ヲ変更シ忽チ煙突

ノシトシ四千百ニ近キ猛火ヲ注キ一時爆煙ノ為目標明ナラサル

ニ至レリ

五、一八一時打方ヲ中止セシガ次ニ敵ノ最モ尤翼ナルニ煙突ノ巡洋艦ヲ四

四、〇〇後見シシ之ヲ砲撃ス

五、二八右舷戦闘ヲ止シ右十六隻ノ回頭

第五次左舷戦闘

五、三三射巨砲五十二百米突タル工作船「カムチャツカ」ヲ射シ徐射ヲ行フ

前十五砲弾ノ之ニ命中シテ而カモ爆煙ヲ舉ガカルモノアリシ

水線附近ニシテチソルモノナラシ次ニ第四次右舷戦闘ヲ撃破

シタル三煙突ノ一本ハ既ニ撃破セラルトシタルモノ)假裝巡洋艦

型ヲ射距離四千ニ迄ク至リ全砲火ヲ之ニ集彈シ二千米迄迄
距離ニ肉薄接近スルニ至ル迄連続銃最モ猛烈ナル砲火ヲ繼
続ス四七密砲亦之ニ加リ我砲彈殊ニ十二平砲彈ノ或ハ水線
下ニ或ハ上甲板ニ炸裂スル様実ニ猛烈ノ状ヲ呈シタリ

五四二 其全ク戦闘カシ失ハルヲ見テ小口砲ノ外發砲ヲ中止ス該
艦ハ瀕リ火災ヲ起シ更ニ一煙突ハ兩橋ヲ失ヒ漸時左舷ニ
傾キ五時五十分迄ニ沈没セリ

五、五二 左舷砲台四〇〇ノ敵駆逐隊ヲ發見シ小口砲ヲ以テ之ヲ砲撃
セシニ忽チ遁走セリ

五、五七 戦艦四隻卓縦陣ヲ吾ト令収六千三百米迄ノ射距離
ヲ我左舷砲火ヲ其先頭砲台ノ型ニ集彈シ着々其効ヲ大ニ

六、〇四 前上平右砲艦發セルモノ、如ク天蓋ノ前部及砲身一部破壊
シ發砲ニ礙セシヲ直ニ廢棄置シ施シ左砲ノミヲ以テ砲

火ヲ銃銃ヤリ當時敵ニ為艦(アリヨールラン)ノ彈自頗心精確
ニシテ艦側近ク落彈シ其火煙最上艦橋ヲ浸ス一屢ナリ
其時先頭艦ハ我命中彈ノ爆煙ニ蔽ハレ照準シ能ハサリ
シヲ以テ目標ヲ二番艦ニ換エ之ヲ猛撃シ忽チ敵ノ喫準ヲ射
ヲ妨ケリ次ヲ因ヒ先頭艦ニ復セシモ當時夕陽ニ面シ彈着ノ
識別明瞭シクキニシ以テ餘射トナス

七。四 我カ十二号彈ノ命中頗ル良好ニシテ先頭艦ノ大橋ハ折斷
シ其火災ハ益々猛烈シ極ムルニ至リ其後該艦ノ火薬庫
爆烈シタルモノ、如ク黒白ノ濃煙ニ蔽ハレ遂ニ沈没ノ最後ヲ
遂ケリ

七。一。日没ニ重ントスル時本艦ノ砲火ヲ止メ戦闘中止次ニ夜中戦闘
哨六部署ニ移ル

二十八日午前一〇ハイツル上シ先頭ニ「ヨライ」アリヨール「セマリン」及ビ

原 庫

アブラキシヨリナル一群ニ会シ先ツ十二所以下砲負ッ防禦却肉
ニ下ラシソ

一、四〇射距離七千米迄ニ至リ旗艦「コウライ」ニ向テ右舷ハ平砲一斉
試射シ行ヒ徐ニ砲火シ開キシモ敵ハ更ニ應砲セズ接近シ来ッテ
降伏ノ信早シモシヨリ打方ヲ停止ナリ

之ヲ要スルニ沖ノ嶋附近海戦當日ハ前日來ノ強風未ッ衰エズ波
浪高シシテ艦体ノ動揺甚ナカラス且ツ海戦中ノ多クハ風下ニ位置
シ戦闘側ノ砲門ハ時々激浪ノ洗フ處トナリテ飛沫ヲ漲ラシ頗ル
喫準後射ニ困難シ感シ望遠鏡照準器ノ如キハ拭フニ違アラズ
テ山桿式ト交換シ砲アリシ程ナリシト魚モ戦闘距離比較的
近カリシ場合多カリシト将率一收ニ冷靜能ク平素鍛練ノ枝柄シ
奮ツテ艦砲砲火ノ全能ヲ遺憾ナク發揮シタルノ結果從來砲
戦ニテハ到底撃沈シ能ハサル如ク信セラレシ戦艦數隻ヲ撃沈シ

0368

数次ノ戦闘中近接シ来レル敵艦ノ号大ノ損害ヲ與ヘ屢々
之ヲ沈黙セシムルニ至リタルモノトス

而シテ敵艦隊ガ遠航ノ準備トシテ石炭其他シ極致ニ増載シ

其帯甲板以下ニ沈シ居タルト當日波高カリシ爲ニ乾舷ノ較

ヤ低キ部ニ穿孔シ創ノ下濺渾大孔者シテ海水ノ侵入ナシ

タルトハ敵装甲艦ノ沈没シ比較的容易ナラシメタル一因ナリト

確信ス

張
通

0369

水雷發射及効力ノ部

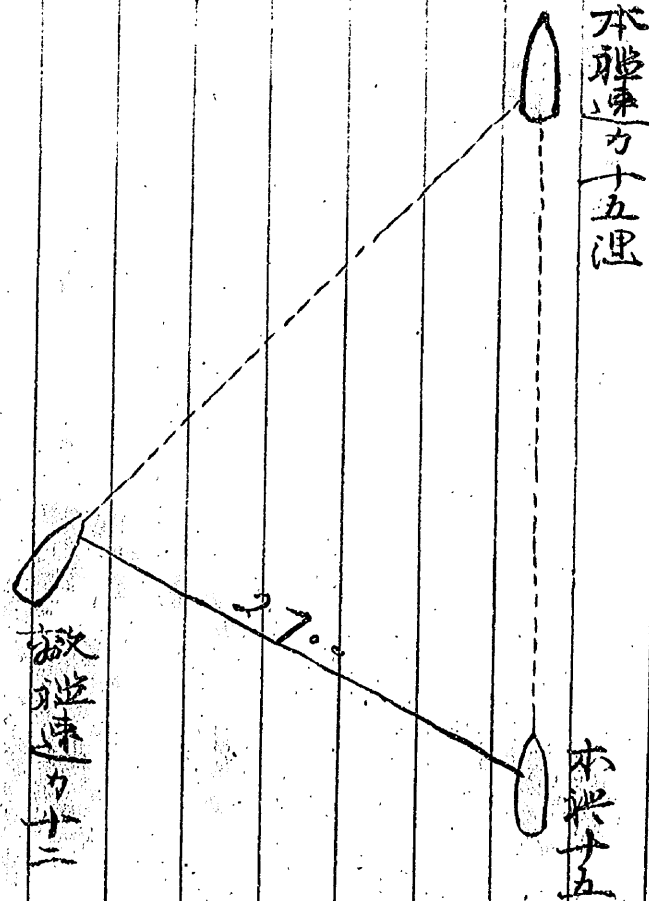
第一次右舷側戰射ニ於テ敵艦トノ巨離四千乃至六千ニシ
 テ水雷發射ノ時標得サリキニ時水雷長海軍少佐菅野勇七
 前司令々塔ニアリシガ敵彈前部トんターテ撃シテ破壊セシ際
 二時十分其破片ノ為顔面右頬及右肩ニ重傷ヲ負ヒシモ
 方位盤シ去スル及繃帶ニ倦リ終リ決テ戰射ニ從事ナリテ三
 左舷側戰射ニ移ルヤ敵艦スワロフ型トノ巨離接近シ其二
 千七百米安キ来リシトキ午後三時十分前部左舷水雷シ
 發射スル(第一番魚雷)其効果不明ニ終リ左舷後部シ
 發射セシトセシモ恰モ敵艦ニ縦側面ニ受ケ被テノ所ナリ上不利ナ
 ルシ認ソ中止シテ第三次右舷戰射雨ト日表キノ戰艦ニ接近
 セシ際午後四時十分巨離二千七百ニテ前部左舷水雷シ
 發射スル當時被テノ所你最モ好状態ナリシヲ以テ終

軍 艦

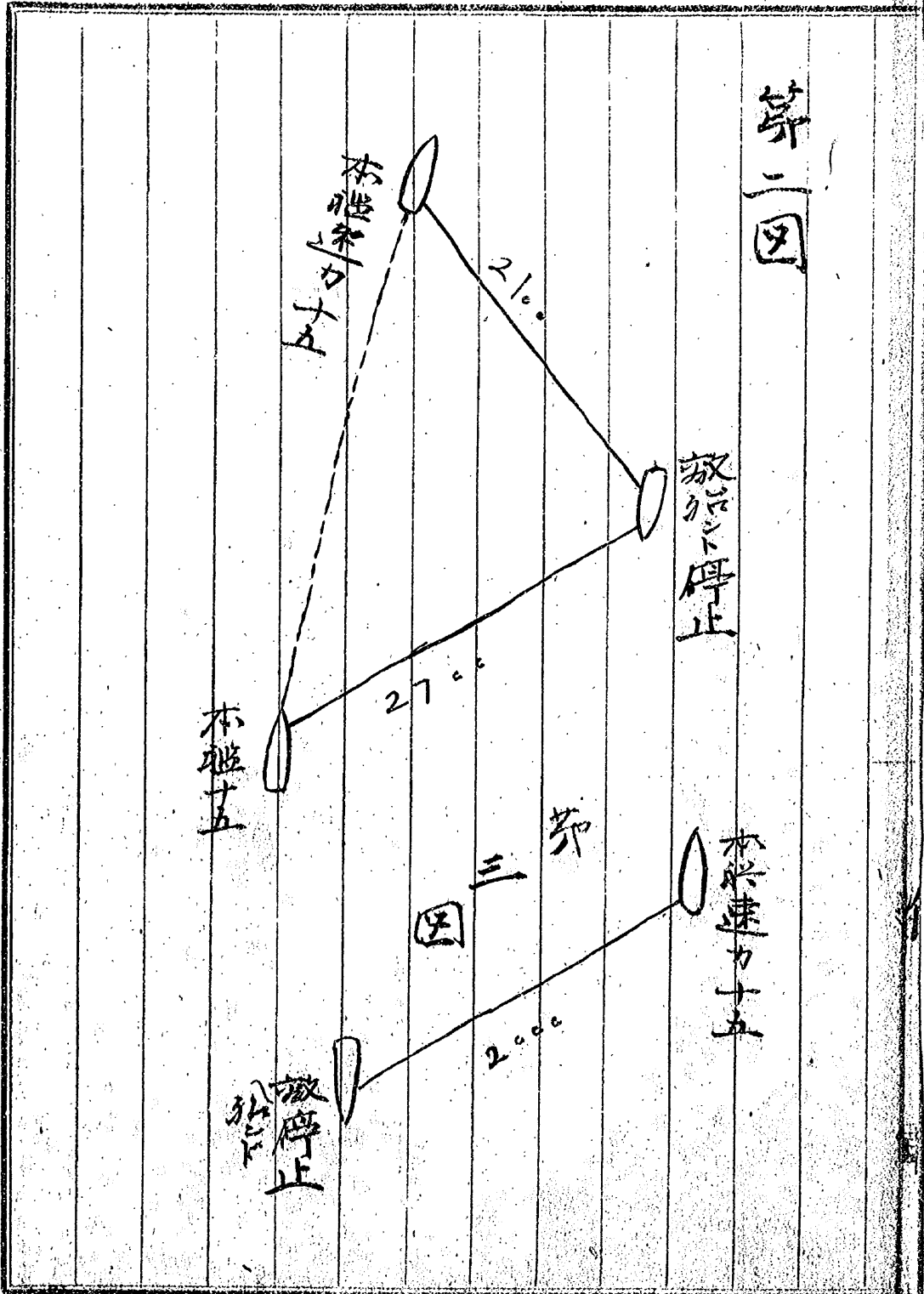
午三十四分 距離二千二百メートル 右舷後部水雷シヤロフ管に發射ヲシテ
 内面に一個ハ命中爆發シタルノ形跡アルヲ確認シヨリ(中三番ヲ照ス)
 四時五十分 水雷長繻帶ノ為ニ一時其位置ヲ去リシモ五時四十分
 雨ト戦闘醜逆ニ付ケテ第四次左舷側戦闘敵三烟管後
 装巡洋艦砲撃ノハ午後五時四十分ニ距離ニテ後部左舷
 水雷シヤロフ管(中三番ヲ照ス)命中確實ニシテ該艦沈没ヲ速
 カナフニシヨリ主因ナリシヲ認め日ノ後水雷室共ニ一ツ故障
 ナク四發射管共ニ完全ナル發射ヲ遂ケ得タルハ水雷部員上
 下一同ハ熱心ノ戦闘ニ從事シ其取扱最モ宜敷ク得
 ルニ依ルモノト認め

0372

第
四



0373



0374

六信務命令

二十七日、介

時	介	起信艦	受信艦
六 ^{午前} 二四	台中	旗艦	旗艦
六五〇	旗艦	各艦	
七二五	"	"	
七五二	"	"	
八四〇	"	"	
九三〇	日進	本艦	
九三八	旗艦	各艦	
九五四	"	奇襲隊	
一一三〇	"	一戰隊	

絶大、成功ヲ祈シ

旗艦、通路ヲ進メ

旗艦、通路ヲ進メ

速力十四哩、減セ。方位東ニ南

戰鬥部署ニ就キ要具ヲ備ヘ且整備セハ其後同散

休憩セヨ

敵ニ七七地雷、南東ニ在リ針路東北東

方位南東ニ南

所ヲ離シ本隊ニ取リ到ル

本日午後一時位置信ヲテカク時ヨリ合ス

0376 0375

絶大ノ成功ヲ祈シ

旗艦ノ通跡ヲ進メ

旗艦ノ通跡ヲ進メ

速力十四哩ノ域セヨ 方位 東ニ南

戰鬥部署ニ就キ要具ヲ備ヘ且テ整備セハ其佐同散

休惣セヨ

敵ニ七七地矣ノ南東ニ在リ針跡 東北東

方位 南東ニ南

引ッ辭キ本隊ニ取リ到ニス

今日午後一時位通信ヲ止メテ時々合ス

二頁 三頁

0376

0375

信務會令
訓令

〇〇七	無線電信機	無線電信機、今迄は日没直前に停止して再発せり
〇二四	速力十三哩	速力十三哩ニ減じ
〇三六	旗艦ノ通断ノ進	旗艦ノ通断ノ進
一三六	方位南々西	方位南々西
一四〇	旗艦ノ外無線電信機ノ水線下ニ收	旗艦ノ外無線電信機ノ水線下ニ收
一五〇	速力十五哩ニ増加	速力十五哩ニ増加
一五五	皇國ノ興敗以此一戦ニ在リ各員ノ奮闘努力ヲ	皇國ノ興敗以此一戦ニ在リ各員ノ奮闘努力ヲ
二五七	九八号一着回頭	九八号一着回頭
三〇五	九八号一着回頭	九八号一着回頭
三二五	九四号七面変換	九四号七面変換
三四〇	九八号一着回頭	九八号一着回頭
三四七	九八号一着回頭	九八号一着回頭
四二〇	本艦ノ代ニ迄打方待	本艦ノ代ニ迄打方待

0377

四	三五	本艦	津向	本艦、前出、後待、速力、今日出ヌカ
四	三五	津向	本艦	今カ全力ナリ
四	三五	旗艦	各艦	七八隻一斉回頭
四	四〇	"	一戦隊	右八隻一斉回頭
四	四六	"	"	旗艦、通跡ヲ進メ
七	一三	"	"	午後七時三十分方位東北、午後八時方位北、東ノ東
七	二〇	本艦	敷島	其艦、無線電信機ヲ取付ナリ
七	三〇	"	"	本艦無線電信機ナリ、其艦ニ事ヲ輕便機ニ知セリ
二十八日、介				
四	三〇	敷島	本艦	艦中ノ電、沈没船ノ戦艦ニ隻、何カ聖一隻カトナリ
五	二四	旗艦	一戦隊	他、夜装束付艦ニモ、一隻都立五隻、確ナリ
				速力、衝次、十三隻、二十七

0378

七 五 六	七 五 三	七 五 〇	七 四 七	七 四 六	七 四 二	七 三 二	七 二 五	六 〇 五	五 五 〇	五 三 七
〃	標艦	本艦	本艦	〃	〃	艦	春日	艦	春日	艦
〃	一戰隊	本艦	本艦	〃	一戰隊	本艦	艦	一戰隊	本艦	一戰隊
方位 東南東	速力十五節増セ	信号ヲ通信セ	無線電信機付艦ノ本艦ニ代リテ受信シテ	南東ニ煙見ニ	見張ノ敵艦ニセ	戰鬥部署ニ就要員ヲ備ヘ凡整備ニ其候前敵ノ本艦	成ニ可ク針路ヲ示サレ標艦ヲ	艦母ヨリ考謀長申ス豫定ノ位置ヨリ回頭ノ場在ニ	敵ノ第二艦隊見ニ地真六〇三方位北東令リヤ	方位北ニ西

0379

八一〇	出雲	本艦	常盤了右船「コト」に「敵艦」に隻見北に向フ
八二五	本艦	敷島	吾島探電信機復旧セリ
八三九	旗艦	一隊	旗艦通路ヲ進メ
一〇二五	警手	本艦	「セム」ノ型何カ悪戯シテ自暴カリ「思」ハ「目」ト
一〇三四	旗艦	一隊	本日の如ク連動シテセシ故車沈セリ
一〇四五	春日	本艦	針路ヲ変メ右艦ノ之ニ倣ヒ斉動シテ可シ
一〇五五	旗艦	敷島	敵艦ヲ降伏ト認ム
一〇五五	旗艦	若艦	停止セリ
一〇五五	敷島	敵艦隊降伏セリ	
一一一〇	敷島	若艦	原速力一〇ノ限
一一一〇	敷島	若艦	若艦ヲ送ル

0380

手信	〇 四五 旗 艦	一 戦隊	本日午後一時位置信屏ノオキ時ニリノ合
	〇 四五	一 戦隊 一 戦隊	東島、富士、一番艦、朝日春日ノ敵、二番艦ノ請取ノ敵、 去貨ノ収容ニ準備シテモ収容ノ旨ニ後ヲ知ラズ又 捕獲人員ノ左ノ如ク送リ、東島副長一、大尉一、中尉二、 上等兵電一、上等機回兵電一、兵電二、機回兵電一、 信号兵電一、信号兵二、水兵四、機回兵二、大機 回士一、朝日、副長一、大尉一、中尉二、上等兵電一、 上等機回兵電一、兵電二、機回兵電一、信号兵 曹一、信号兵二、水兵四、機回兵二、大機回士一、 富士、女佐一、大尉一、中尉二、中女機回士一、上等 機回兵電一、上等兵電一、兵電二、機回兵電一、 信号兵電一、信号兵二、水兵四、機回兵二、 春日、兵二、八人、富士、同ノ捕獲員ノ信

0381

										ハキ時期、更ニ信乎ス
										使用し、薄し、端并、幾度かヤ
	二	二〇	旗艦	各艦						捕獲員ノ指定ノ艦ニ送シ
	三	一五		一戦隊						捕獲員ノホリ止リ推シ、更ニ捕獲員ノ送リ、ホリ止
	四	三〇								ニテ同敷ノ敵ノ負ノ棄セ、取り各艦ノ収容セヨ
										捕獲員ノ送リ、艦ニ使、近キ、可キ、日、夜、亦、盡
										介リ、勸告シ
	四	四〇	春日	旗艦						北西ノ方向、ナヒモ、ラキ、艦西ニ向テ航ス
	四	五五								今、ナヒモ、ラキ、非、テ、國籍不明ノ商船ナリ
	五	二〇	旗艦	一三戦隊						降伏艦ノ處置準備整ヘ、整備艦ヲ揚、整備報セヨ
	六	五五		各艦						今夜針路南西、西南、速力一〇、速力保、向テ航
										海燈ヲ出シ、速力信乎、燈ヲ点セヨ
	七	三一		一戦隊						旗艦、通跡ヲ進メ

海
軍

七
三八
旗
艦
一
戦
隊
四
省
艦
後
日
東

0383

無線電信ノ通信

二十七日ノ分

時分	發信艦	受信艦	電文
午 前			
五〇五	嚴島	本艦	敵ノ第二艦隊見ユ
五五	秋津洲	本艦	對馬東水道ヲ通過セリトスルモノ、如ク
六〇七	嚴島	本艦	敵艦隊午前五時北緯三十三度五分東經百二十度十分
四五	信濃丸	本艦	敵艦隊十五隻以上目撃ス
七一四	嚴島	本艦	第五戰隊神崎ニ向フ
三〇	嚴島	本艦	敵艦隊十一隻以上先頭後尾病院船二隻
八〇〇	和泉	本艦	二三七地莫ニ在リテ北東ニ東ニ進行速力十二哩
三〇	笠置	本艦	第三戰隊二五地点ニ在リテ速力十哩針路北東ニ北

(二三七地莫 北緯三十三度五分 東經百二十九度)

(二五地点 北緯三十三度四分 東經百二十九度)

午後	〇〇二	巖島	本艦	右翼列五才「ホム」型五隻次「モウ」型三隻次「カワリン」 「ナヒモウ」左翼列六「アビ」型三隻次「巡洋艦」
	四〇	和泉	本艦	北東、針路北東々東 午前十時三十分先頭艦三〇六地点 <small>北 三十四度 東 百二十九度五分</small>
	三〇	和泉	本艦	我針路東、速力十哩、右翼、先登、思フ笠置 ヨリ敵、我戦隊ノ序位置ヨリ南東七海里吾三〇七地点
	二五	和泉	本艦	九様九翼ノ先登、思フ
	一五	笠置	本艦	敵、我戦隊ノ序位置ヨリ南東七海里ニテ我三〇七地点 <small>北 三十四度 東 百二十九度四分</small>
	〇五	巖島	本艦	九翼ヲ力ナリト認ム
	一一〇〇	巖島	本艦	敵艦隊速力十二哩、針路北東
				ノ順序ナリ「セリヤ」型前衛、後衛部隊及「海軍」艦 型三隻「エンペラー」型「アレキサンダー」三世「オレ」型「アウロー」

仮装巡洋艦

二五	和泉 本艦	敵艦隊正午若宮島、北十二海里 針路北東々東
二七	嚴島 本艦	我三六三地矣 <small>(北三十四度二十分 東百二十九度十分)</small> 針路東々南
三〇	笠置 本艦	敵艦隊三〇七地矣 <small>(北三十四度 東百二十九度十分)</small> 針路東北東、展望外海に
三〇	須磨 本艦	敵、針路北々東
四〇	嚴島 本艦	敵艦隊北東、変針 三〇七地矣
五五	嚴島 本艦	敵艦隊又東北東、変針
一〇七	〃	我三六四地矣 <small>(北三十四度二十分 東百二十九度十分)</small> 針路北、敵ヲ南々西々西
		約五海里に見ル
一五	〃	敵三〇八地矣 <small>(北三十四度 東百二十九度十分)</small> 北東ニテリ、針路北々東
二〇	〃	位置ヲ示セ
三〇	和泉 本艦	敵艦隊三三七地矣 <small>(北三十四度十分 東百二十九度十分)</small> 北東ニテリ、針路北東
三六	笠置 本艦	敵艦隊、本艦ヲ南々西の六海里ニテリ

六七〇	巖島	本艦	敵艦隊速力約十三哩ト認ム
六三〇	浪連	本艦	午前六時八〇八地点 <small>(巖島、 亞南中緯)</small> 方位南東々東
六五〇	〃	〃	敵、仮装巡洋艦見ユ七六五地点 <small>(巖島、 西約五十哩)</small>
			南西々西
六五〇	巖島	本艦	敵ハ午前四時地・七二六 <small>(巖島、 東約五十哩)</small> 北東
七〇七	金山	本艦	敵ノ針路北
七一六	巖島	本艦	敵艦隊第五戦隊東々南十哩敵ノ針路北北東
四五	〃	〃	敵ハ確ニ九ノ地矣ニ在リ六四五地矣ノ北東
七五〇	金山	本艦	敵ハ六四五地点 方位南東
八三五	巖島	本艦	敵ハ午前八時三十分六八〇ノ地矣 方位北東
一一二四	浪連	本艦	吾ハ不知ドク追跡セシモ速力及ハ不遺隙ナリ
七五	十歳	本艦	「ドミトリ・ドン・スノイ」地六四四「アドミラル・セニヤライ」
			型見ユ北ニ行リ 右午前六時三十分ノ電

0389

一〇〇	須磨	本艦	秋津洲ヲ臨時出羽司令官ノ指揮下ニ入レシムルコト
			追撃セシム
一二五	千歳	本艦	我今朝地(不明)ヲ敵ノ駆逐艦一隻ヲ撃破セシム
			電判リシヤ
二二六	千歳	本艦	「イソムト見エズ帰ル位置ヲ示セ
五二六	須磨	本艦	降服艦名知ラサシム
九三五	浅間	本艦	我鬱陵島東南上陸第四戦隊倉敷戦艦
			航路ノ左前方ニアリ夜ニ入り間ニ合ハズ
九五〇	須磨	本艦	六戦隊鬱陵島ノ南東十海ニアリ
一〇〇	雙手	本艦	「ウシマコトハ降服ノ信号セシム降服セザル故若
			六時地獄八ノ撃沈セリ我僚艦損傷セ
			八時捕虜収容終ル其人數取調中當隊
			進退如何ニスヤキヤ

0390

七、抗力汽機回轉數及速力
本項(十三)汽機部詳カテ

0393

0392

松陰部三詳(カチ)

0393

0392

流力及海回教
及海回教
流力及海回教

